

平成24年10月29日

習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会への提案

表記委員会に下記の提案を行います。

(1) 提案趣旨

市民が気軽に利用できるよう以下の施設を併設するように提案します。

1. 郷土資料館
2. 市民食堂（レストラン）
3. 売店（コンビニスタイル）
4. 展望デッキ

(2) 内容説明

1. 郷土資料館

習志野市の歴史ならびに文化を総合的に紹介するために『郷土資料館』を市役所の新庁舎に併設し、『文教都市習志野』に相応しい新庁舎とする。

習志野市では、旧石器時代ならびに縄文時代から現在に至るまでの郷土の歴史を系統立てて紹介する施設が無い。

「奏の杜」の埋蔵文化財の発掘調査を見るまでもなく、市内各所から数々の貴重な文化財が発掘されているにもかかわらず、小中学生をはじめとする市民がそれらを見る機会が無く、いたずらに貴重な文化遺産が収納倉庫に眠っているのは非常に残念なことである。

市役所の新庁舎の建設に際しては、習志野市の歴史・文化を紹介する『郷土資料館』を併設することにより、親しみやすい新庁舎となるとともに、多くの市民が「文教都市習志野」を実感することになる。

習志野市の人口は160,000人を少し超えた程度であり、隣り合う千葉市や船橋市に比べてかなり小さな行政区域となっている。しかも習志野市民の大部分は他の地域から転入してきた人たちであり、そのほとんどの人たちは、習志野市の本当の歴史文化を知らないでおり、そのために郷土愛が十分育まれているとは言えない状況にある。

次世代を担う青少年を中心として、これからの習志野市を作っていくためには、『郷土資料館』を併設して、みんなで誇るべき習志野市の歴史文化を勉強し、真の郷土愛を育ててゆくべきであると考えて提案します。

ちなみに、千葉県下の各市町では、隣り合う千葉市、船橋市、八千代市をはじめ長南町、御宿町、睦沢町まで**30以上の市町**に地域の歴史文化を紹介する施設がある。特に、県北西部地区ではほとんどの市で地域の歴史文化を紹介する施設を持っており、無いのは習志野市等極めて少数である。

2.市民食堂

市民が気軽に利用でき、上記提案にある『郷土資料館』の利用者の利便性を図るとともに、周辺地域の高齢者が気軽に集えるような場の中核として、おしゃれなレストラン形式の「市民食堂」の設置を要望します。

間違っても、現在あるようないかにも役所の食堂であるといった前世紀の遺物に見える施設であってほしくないと考えます。

3.売店

市民課に必要な手続きに来る一般市民に対するサービスの一貫として、コンビニスタイルの売店を併設し、豊富な品揃えの売場を確保して、市民の利便性を図る。

4.展望デッキ

最上階に展望デッキを設け、市内を一望にできる場を設けるとともに、そこに市内の行事や施設を紹介することにより、常に市民に対しての情報の発信の場の一つにする。もちろん行政だけでなく、各種団体や一般市民が利用できるギャラリーを併設することにより、広く市民の利用を図るとともに、市民文化の情報発信の場とする。

以上を提案します。

平成24年11月5日

習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会への提案

つくば市役所を見学した結果を踏まえて表記委員会に下記の提案を行います。

基本的には、新しい考え方を導入することで、機能的な建物にするというハードな面について考えてゆくとともに、出来上がった後の合理的・経済的な運営というソフトな面についても考えた提案である。

(1) 提案項目

1. オープンスペースによる柔軟な間取り構成
2. 長テーブルによる専有面積の節約
3. 書類整理の方法の改善による空間の確保
4. 新しい市民サービスの構築による市役所職員の負担の軽減

(2) 内容説明

1. オープンスペースによる柔軟な間取り構成

壁のない建物を作る（オープンスペース）ことにより、常に必要部署の専有面積を自由に変更可能な構造物とする。このことにより、次のようなメリットがある。

- ① 各部署の人員増減への対応が容易になり、移動の経費の節約になる
- ② 広い空間を確保でき、来庁した市民が容易に必要部署を探することができる。
- ③ 空間の広さを確保することで、働く職員も閉塞感がなくなり、精神的に落ち着き効率的な仕事が可能になる
- ④ 今後発生する可能性がある市役所の役割の変更（市町村合併等）に対して柔軟に対応できる
- ⑤ 市役所の機能を他に転用することも容易である。

2. 長テーブルによる専有面積の節約

個人的な机をなくして、業務を行う場所を長テーブルとすることで次のようなメリットがある。

- ① 各人の机を持つより業務スペースの節約になる
- ② 各職員は、キャビネットに必要ものを入れておくことで保管スペースが少なくなり、そのことで不必要なものを抱え込まなくなり、結果として保管スペースが少なくなり、業務スペースの節約となる
- ③ 移動が簡単になり、組織の変更や各部署の人員の変更に経費が掛からなくなる
- ④ IT 機器の使用が促進され、紙データの保管を少なくすることで結果として保管スペースが少なくて済む

3. 書類整理の方法の改善による区間の確保

個人的な机をなくし、背の高い戸棚をなくすことで、業務する空間が広く見え次のようなメリットがある。

- ① 保管することができる戸棚が少ないことで、結果としてその時に必要な書類の保管だけとなり、資料の整理を行わざるを得ず資料が整理できる
- ② 何より見通しが良くなり、開放的な空間が確保できる。
- ③ すぐ必要としないが保管する資料は別の書庫に収めることになるので、持ち出し易いような整理ができる。
- ④ 整理がきちんとすることで引継ぎが容易になる

4. 新しい市民サービスの構築による市役所職員の負担の軽減

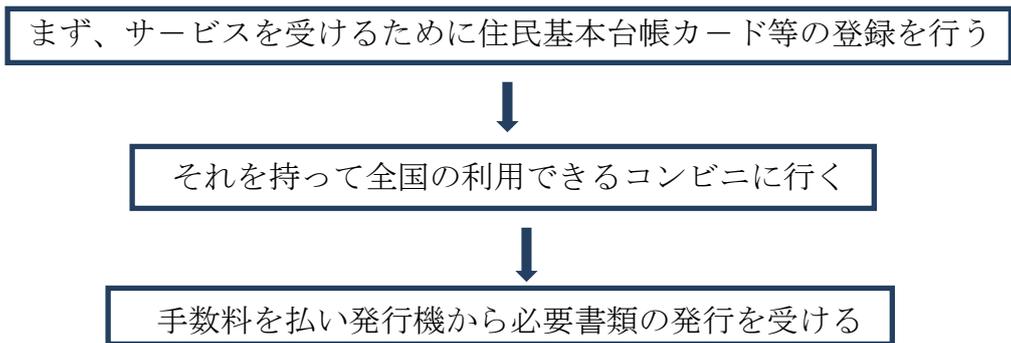
この機会に、つくば市が行っている市民サービスを取り入れることを提案したい。

*コンビニ登録サービス

コンビニで市民が日常必要とする住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できるサービスを取り入れる。

この証明書の発行機能を市役所内に設置した発行機械からも取り入れることで、発行業務が簡素化され、市民の待ち時間の短縮になるとともに、担当する市役所職員の削減にもなる

次のような手続きを行うことでコンビニで証明書が取得できる。



以上